

地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所 第1期中期目標(素案) 作成経緯

大阪健康安全基盤研究所 あり方

第3回～第4回TF会議(H24年度)
有識者の意見を参考に
両研究所の独法化に伴う
機能面の統合について
「大阪健康安全基盤研究所のあり方」
を策定

あり方を
基に作成

大阪健康安全基盤研究所
中期目標(素案)

第5回～第6回TF会議(H25年度)
中期目標(素案)を検討

有識者(国立研究所、地衛研の長等)の主な意見

- 健康危機発生時には、国や地衛研間の連携が一層重要
- 試験検査機能については、安易な外部委託ではなく、重要なものは地衛研で実施し、その知見を集めて保健所等と情報共有し、政策面に活かしていくべき
- 組織はシンプル化するとともに、各セクションの独立性を低くし、柔軟性を担保する
- 統合による業務の合理化や検査業務の省力化を図り、組織改革を進めるとともに、それらを時代の要請に応える「新たな事業」に振り向ける発想もあり得る
- 能動的公衆衛生活動を通じて、問題解決型の取組みを図ることが重要
- 関西ひいては西日本の中核技術拠点としての役割を期待
- 要請を受けるサービスだけではなく、より良い社会を創るために科学を活用

中期目標(素案)の内容は、概要を参照